



# きねんさんのかわらばん

## 御集印ブーム

今、老若男女を問わず御集印ブームです。当社でもここ二〜三年で朱印を受けられる方が急増しています。

しかし、朱印を集める事が目的となってお参りするという本義がおざなりになっているような感もあります。本来参拝の証としての朱印ですから先ずお参りされてからお受け頂くと宜しいかと存じます。またマナーとして受けられる御集印帳を開いてお出し頂ければ幸いです。

四国八十八ヶ寺巡りではページを確認するので開いて出しても二度手間と言われるそうですが、神社での朱印はページが決まっているわけではないので開いてお出ししましょう。

こう書くと書いてあげてるより書かせて頂いている感が必要と、過去にもご指摘がありました。書かせて頂いているというのは違うと思います。神社の顔ともなる朱印ですから受ける授けるという関係が大事だと思います。いずれにせよ記念スタンプとは違いますので丁寧に大事にお受け下されば幸甚です。

各町内鎮座の神社祭典につきまして、祭典日のご連絡を早めに頂ければ幸甚に存じます。

平成二十九年 皇紀二千七百七年

五月発行

沼名前神社

## “わっしょい！”

夏祭や秋祭にお神輿がでます。お旅所までの往路を渡御といい、復路を還御といいます。

神輿とは神霊(御霊代みたましろ)を奉安する輿(こし)つまり神様の乗り物で、氏子区域を巡幸することにより神と人々が一体になり、人々は神様の御神徳を頂き、神様も人々の姿を見てお喜びになるものです。

輿では余りかけ声の統一性はありませんが(笑)他地域では「わっしょい！わっしょい！」とかかけ声をかける事が多いようです。

「わっしょい」とは・・・

語源は定かではありませんが、「和を背負う」「和一処(和一緒)」の意があるといわれています。皆で力や心を合わせて背負う、ということころでしょうか。

なるほど、ですね。



## 六月三十日は夏越の祓

年二回行われる大祓のうち、六月のを夏越の祓と言います。人形(ひとがた)で身についた半年間の罪穢れを祓い、ご神前の茅の輪を三回くぐりながら「水無月の夏越の祓する人は千歳の命延ぶというなり」と唱えつつ無病息災を祈ります。

六月中に人形を町内にお配りしますので御供えを添えて神社に御奉納下さい。

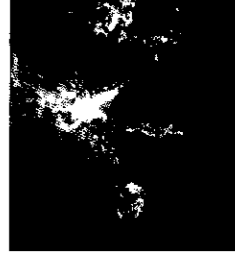
HP [tomo-gionsan.com](http://tomo-gionsan.com)  
 FB [www.facebook.com/gionsan](http://www.facebook.com/gionsan)



祝祭日には国旗を掲げまじま

## 夏祭当番町

- お手火(七月八日)  
 江ノ浦元町・江ノ浦町  
 道越町  
 鍛冶町・祇園町
- 神輿渡御祭(七月九日)  
 江ノ浦元町・江ノ浦町  
 西町  
 石井町
- 神輿還御祭(七月十六日)  
 江ノ浦元町・江ノ浦町  
 関町  
 原町



## 行事・祭典の予定

五月	一日	月首祭
	二日	例祭
	三〜五日	講社安全祭
	十四日	月次祭
六月	一日	月首祭
	十四日	月次祭
	三十日	大祓式
七月	一日	月首祭
	八日	お手火神事
	九日	神輿渡御祭
	十〜十五日	氏詣
	十四日	月次祭
	十六日	神輿還御祭
	二十三日	神能祭

本紙の掲示・回覧にご協力下さい